

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.9

名前

得点

/10

問1 アジアに長期滞在する日本人の職業別割合をみると、民間企業従業員の割合が約7割と極めて高い特徴がある。これは、日本の多くの企業が安価な労働力や成長する市場を求めて現地に工場や支社を設立しているためである。このように、国境を越えて複数の国に生産や販売の拠点を置き、地球規模で意思決定や経済活動を展開する企業を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 現地子会社 2. 外資系企業 3. 合併企業 4. 多国籍企業

問2 中国では、1979年から実施された人口抑制策によって急速な少子高齢化が進行している。しかし、国内の農村部から都市部への移動労働力が豊富であるため、経済発展において（ ）に大きく依存する状況には至っていない。空欄（ ）に当てはまる、国境を越えて移動し、受け入れ国の産業を支える労働力を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 技能実習制度 2. 外国人労働力 3. 外国人労働者 4. 高度外国人材

問3 ヨーロッパの歴史的都市において、広場や凱旋門などの記念碑を中心として道路が外側へ伸び、それらを同心円状の道路が結ぶことで形成された、フランスの首都などの都市計画にみられる街路パターンを何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 放射環状路街 2. 直交路街 3. 放射直交路街 4. 迷路路街

問4 社会の近代化や医療の普及に伴い、まず死亡率が低下し、次いで出生率が低下することで、人口ピラミッドの形状が底辺の広い形から中央が膨らむ形へと変化していく。このような、多産多死から少産少死へと人口のあり方が移行する現象を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 人口転換 2. 人口減少 3. 人口移動 4. 人口爆発

問5 南アフリカ共和国において、1990年代の人種隔離政策撤廃後、都心部の治安悪化や環境変化を背景に、商業施設やオフィスが都心部からサントンなどの郊外へと移転する都市構造の変化が見られた、同国最大の経済都市はどこか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. アディスアベバ 2. ケープタウン 3. ヨハネスバーグ 4. アレクサンドリア

問6 日本の東北地方や北陸地方などの豪雪地帯に位置する地方都市において、冬季の積雪時にも歩行空間を確保するために、商店街や旧街道沿いの建物の軒先を道路側に延長して作られた、伝統的な雪よけの通路を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 雁木 2. 流雪 3. 融雪 4. 消雪

問7 中国・四国地方に比べて一戸建て住宅の割合が高く、一世帯当たりの住宅の延べ床面積が広い。また、豪雪地帯を抱えるなど冬季の気候特性から、中国・四国地方に比べて冬季（1月～3月）の光熱費が高くなる傾向がある、本州中央部に位置する地方区分を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 関東地方 2. 近畿地方 3. 中部地方 4. 東北地方

問8 1970年代の石油危機に伴う原油価格の高騰により、莫大なオイルマネーが流入した。これを背景に国内で大規模なインフラ整備などの建設ブームが起こり、周辺のアラブ諸国や南アジア、東南アジアから大量の外国人労働者を受け入れた結果、現在でも国内の労働力の約半数を外国人が占めている西アジアの国はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. クウェート 2. サウジアラビア 3. バーレーン 4. カタール

問9 九州南部に位置する県庁所在地であり、周辺地域に対する広域的な商業・管理機能を備えた地方中心都市である。卸売業や小売業などの商業活動が盛んである一方、製造業の割合は比較的低いという特徴を持つ都市はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 鹿児島市 2. 和歌山市 3. 名古屋市 4. 宇都宮市

問10 19世紀にセーヌ県知事オスマンによる大規模な都市改造が行われ、エトワール凱旋門を中心として道路が放射状に広がる街路網が整備された、フランスの首都はどこか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ベルン 2. ローマ 3. パリ 4. リガ

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 4 多国籍企業	アジアにおける長期滞在日本人の職業別割合で民間企業従業員が圧倒的多数を占めるのは、日本の多国籍企業がアジア地域に多くの生産拠点や現地法人を設立し、多くの駐在員を派遣しているためである。これはアジアと日本との強い経済的結びつきを反映している。
問2	答え 2 外国人労働力	中国は少子高齢化が進みつつあるものの、国内の農村部から都市部へ移動する膨大な国内労働力（民工など）が存在するため、現時点で経済活動を維持するために国外からの労働力に依存する割合は極めて低い。これに対し、欧州や西アジアの産油国などでは、労働力不足を補うために国外からの労働移動に強く依存している。
問3	答え 1 放射環状路街	中心となる広場や記念碑から道路が放射状に伸び、それらを環状の道路が繋ぐ構造を持つ街路パターンである。19世紀の都市改造を経たパリなどに代表される。これに対し、新大陸の都市や日本の城下町などに多い碁盤の目状の街路は直交路街（格子状街路）と呼ばれる。
問4	答え 1 人口転換	社会の発展に伴い、衛生環境の改善や医療技術の向上によってまず死亡率が急激に低下する（多産少死）。その後、教育の普及や家族計画の浸透、女性の社会進出などによって出生率も低下し、最終的に少産少死の段階へと至る。この一連の歴史的・社会的な人口動態の変化プロセスを人口転換（デモグラフィック・トランジション）と呼ぶ。この変化は人口ピラミッドの形状にも直接反映され、富士山型から釣鐘型、そして壺型へと移行する原因となる。
問5	答え 3 ヨハネスバーグ	南アフリカ共和国では、アパルトヘイト（人種隔離政策）の撤廃後、それまで居住が制限されていた都心部に黒人層が流入した。これに伴う治安の悪化や過密化を避けるため、富裕層や企業、商業施設が都心部から北部のサントンなどの郊外へと移転し、都市の郊外化やインナーシティ問題が発生した。この現象が顕著に見られたのが、同国最大の経済都市であるヨハネスバーグである。
問6	答え 1 雁木	東北地方や北陸地方などの豪雪地帯では、冬季の積雪から歩行空間を確保するため、私有地である建物の軒先を道路側に突き出させて共同の通路とした「雁木（がんぎ）」と呼ばれる伝統的なアーケード状の構造物が見られる。これにより、雪に埋もれることなく買い出しや移動が可能となった。
問7	答え 3 中部地方	中部地方は、中国・四国地方と比較して一戸建ての割合が高く、住宅の延べ床面積が広い。さらに、日本海側を中心に豪雪地帯が広がるなど冬季の寒冷な気候の影響で、暖房費がかさむため、冬季の光熱費も中国・四国地方より高くなる傾向がある。
問8	答え 2 サウジアラビア	1970年代の石油危機（オイルショック）によって原油価格が急騰し、産油国には莫大な資金（オイルマネー）がもたらされた。サウジアラビアでは、この資金を背景に道路や港湾、都市開発などの建設ブームが起こり、深刻な労働力不足を補うために周辺のアラブ諸国や南アジア・東南アジアから多くの外国人労働者を受け入れた。その結果、現在でも国内の労働力人口の約半数を外国人が占める状況となっている。
問9	答え 1 鹿児島市	鹿児島市は、南九州の拠点都市（地方中心都市）としての性格が強く、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて発達している。一方で、大規模な臨海工業地帯などは形成されておらず、製造業の割合は全国平均や他の工業都市に比べて低い。
問10	答え 3 パリ	19世紀後半の都市改造によって、エトワール凱旋門を中心とする放射環状路街が整備された。この都市計画は、軍事的な暴動鎮圧対策、衛生環境の改善、交通の円滑化、および景観の美化などを目的として行われ、近代都市計画の先駆的事例となった。